

静岡県熱海市における土石流災害からの早期復旧に向け 国直轄施工による緊急的な砂防工事を実施

令和3年7月1日からの大雨により、静岡県熱海市伊豆山逢初川^{いずさんあいぞめ}で発生した土石流は、上流部の幅約100m、長さ約100mの斜面崩壊を発生源として、約2km流下し、約130棟の建物等に被害を与えました。

溪流内に堆積した不安定土砂が、今後の降雨により二次災害が発生するおそれが極めて高い状況にあります。

二次災害の防止、地域の方々の生活再建の支援のため、速やかな復旧には無人化施工等の高度な技術を必要とすることなどから、7月15日（木）の静岡県知事からの要請を受け、国直轄施工による緊急的な砂防工事を実施します。

○実施箇所 二級河川逢初川水系逢初川（静岡県熱海市伊豆山）

○内容 土石流対策
・既設砂防堰堤の除石
・砂防堰堤の新設 等

○開始日 令和3年7月20日（火）

【問い合わせ先】

（事業全般に関すること）国土交通省水管理・国土保全局 砂防部保全課
土砂・洪水氾濫対策官 星野 久史（内線：36222）
代表：03-5253-8111 直通：03-5253-8470 FAX：03-5253-1611

（工事に関すること）国土交通省 中部地方整備局 河川部 河川工事課
課長 角田 隆司（内線：3711）
建設専門官 中野 治（内線：3713）
代表：052-953-8119 直通：052-953-8153 FAX：052-953-8333

国直轄施工による緊急的な砂防工事の概要



【逢初川水系逢初川】

静岡県熱海市伊豆山地区

○令和3年7月3日土石流災害による被害状況

- ・人的被害: 死者18名、中等症3名、その他25名 (行方不明者10名)
- ・人家被害: 被害棟数131棟(128世帯、216名) ※令和3年7月19日時点

○主な対策

- ・既設砂防堰堤の除石、砂防堰堤の新設、不安定部の除去、仮設ブロック堰堤等

不安定部の除去
(イメージ)



砂防堰堤の新設
(設置イメージ)



既設砂防堰堤の除石
(施工イメージ)



仮設ブロック堰堤
(設置イメージ)



※実施内容は現地の状況により変更する場合があります